

(別記)

(公表様式1)

新潟県福祉サービス第三者評価結果公表基準

① 第三者評価機関名

公益社団法人新潟県社会福祉士会

② 施設・事業所情報

名称：ふたば保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 野中 智美	定員：30名
所在地：〒949-4144 新潟県柏崎市西山町新保 780 番地	
連絡先電話番号：0257-48-2154	FAX番号：0257-47-7634
ホームページアドレス	http://www.futabahoikuen.ed.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成44年11月4日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 西山福祉会	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：12名
専門職員	保育士14名
施設・設備の概要	保育室4室（2歳児クラス、3.4歳児クラス、5歳児クラス、子育て支援室）
	遊戯室 159.00 m ² ほふく室 2室 57.97 m ² 乳児室 14.90 m ²

③ 理念・基本方針

(1) 保育理念

キリスト教博愛精神をもって子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され地域に愛される保育園

(2) 保育方針

～自然は偉大な教師である。本物に触れ、実物に触れる～

- ① ゆったりした雰囲気の中で、子どもの落ち着きを大切にします。
- ② 自主的に遊べるように常に環境を点検して備えます。
- ③ 子どもの良さを大切に、指示命令語は使いません。
- ④ 園全体の保育士、その他の職員が子どもへの共通理解の上に立った連携を心がけ、園全体の子どもその時々状況に適切に対応できるようにします。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ①保育士確保による手厚い保育を行う。
- ②乳児（0歳）を積極的に受け入れる。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 6 月 1 日（契約日） ～ 平成 31 年 2 月 8 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（平成 年度）

⑥ 総評

◆ 特に評価の高い点

○子ども一人ひとりを尊重した保育を大切にしている。

保育理念に「キリスト教博愛精神をもって子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され地域に愛される保育園」とある。園長は、保育実践の中で一番に大切なのは保育者が子ども一人ひとりの目線に立ち尊重することと考えており、前述の保育理念は、昭和 34 年に前身である「ひかり保育園」として開設して依頼の長い歴史の中で大切にし、受け継がれ涵養されてきたものであると考えている。その実現に向け、子どもを肯定的にとらえ、言葉かけについても指示命令語を使わないよう保育方針に掲げ、職員も子どもを尊重することを大切にしていることが、今回の第三者評価における職員自己評価や訪問調査時のヒアリングで確認できた。

○子どもの主体的な活動や子ども相互のかかわりを大切にする保育が展開できる環境を整えている。

園内研修の中で「環境構成」をテーマに職員同士話し合う機会を設けて、子どもが自らやってみようとする気持ちを育むための環境を工夫できるように取り組んでいる。遊戯室には、様々な年齢の子どもが楽しむことができるようにとの観点から遊具配置を考えたり、隠れるのが好きな子どもたちの様子から、遊戯室の隅に小屋を設置することで、ごっこ遊びやなりきりごっこを楽しめるようにと工夫をしている。また、制作コーナーも設置することで、年上の子が自由に制作活動を楽しみ、その場面を年下の子が観察してやってみたいと思える気持ちを育む場ともなっている。物的環境だけではなく、人的環境として異年齢の子ども同士の関わりも子どもの育ちに大切であると捉えて環境を整えている。

2 歳児保育室では、内科健診の経験から「おいしゃさんごっこ」に展開し、担任が注射器や薬などを見立てて作成したものを準備して子ども同士のかかわりも促していくなどしている。また、3 歳以上児保育室では、自己を十分に発揮して活動ができるように自由に用具を使えるような環境を整えている。楽器も自由に使って経験できるように、遊戯室や保育室に置くなどしている。5 歳児は、行事で経験した「鮭登り」を実現したい思いから、鮭を様々な素材で作ったり年下の子を保育室に招待し、友達と協力して実演して楽しんでいる。このように、職員が子どもの気づきに耳を傾けて、子どもがやってみたいと思ったことを実現できる環境を整えていることで遊びが豊かに展開している。

◆ 改善を求められる点

○長い歴史で積み重ねられてきた保育について文書化されることが望まれる。

昭和 34 年に「ふたば保育園」の前身である「ひかり保育園」開設以来、子ども尊重の立場で職員間で話し合い、保育実践を積み重ねてきた。今回の第三者評価においても、小規模園で職員間の連携がとりやすく、園長からの助言や情報の共有化について職員一人ひとりに伝わりやすい環境であることがうかがえた。しかし、平成 27 年に同法人の系列園が開設されたことに伴う職員の異動や職員数の増加により、これまで大切に積み重ねてきた歴史や保育実践を適切に周知・共有するため、文書化する必要性を園長は感じている。今後、子どもを尊重する姿勢をふまえた倫理

綱領の策定等、職員の拠り所となる事項が文書化されることを期待したい。また、保育実践においても、『標準的な保育の実施方法』は整備されているが、職員間で十分に活用されていない状況にあり、今後は作成された倫理綱領等をふまえ、職員が活用しやすい『標準的な保育の実施方法』になるよう、職員参画のもと組織的に取り組むことが求められる。

○より実現可能な計画の策定が望まれる。

現在、柏崎市西山地区における子育てニーズや出生率等から見えてくる潜在的ニーズについて10年以上遡り環境分析を行うと同時に、平成35年までの収入、人件費などのシミュレーションを実施し、経営分析を行っている。その内容は経営層で検討し、次年度の予算や事業内容へ反映させている。

平成27年度策定の「短期・中期・長期計画書」は、現状把握から見えてきた課題について2年の短期から10年の長期の期間での計画となっているが、単年度の事業計画にその内容が具体的に示されているとは言い難い。今後は経営課題について、より効果的で実現可能な計画になるように、分析データ、中長期計画、事業計画が連動して作成・実行されることが望まれる。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

(H31. 2. 8)

今回初めて第三者評価を受審いたしました。

受審する前は不安でいっぱいでした。

しかし、第三者評価を受審する中で、自分たちでは気づかない課題、より良い園にするためにはどうしたら良いのかを見直すチャンスではないかと考えるようになりました。

今回の第三者評価によって、自園の良いところ、また、取り組むべき課題や改善ポイントが見えてきました。

また、アンケートで、保護者満足度がすごく高かったことは、驚きでもあり、大変うれしくも思いました。

これでほっとするのではなく、改善に向けて新たな一歩を踏み出して行きたいと思えます。そのためには、職員の気持ちを一つに、ふたば保育園の一人ひとりの子どもを大切にするという特色を大切に、さらに、より良い保育ができるように全職員で取り組んで行きたいと思えます。

地域の方々、保護者の方々、皆様から愛される保育園を目指したいと思えます。